

放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

記入日: 2022年 1月 15日
事業所名: 夢門塾ゆうゆう奈良津2組

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	4	2		利用者の机が出ている際、いこいルームで遊ぶ範囲が狭く感じているのではないかと気になる。憩いルームの見直しを行いスペースを広く確保した。
	②	職員の配置は適切である	6			運動ルーム、憩いルームに何人職員がいるか常に確認を行いながら支援している。
	③	衛生面の管理が行き届いている	3	3		細かい所やほこりが溜まっている事が気になる。毎日の掃除、消毒は行っているが見えない箇所の掃除が行き届いていないことがある。手が空いた時に清掃を行っている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	4	2		
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	6			
	⑥	自己評価の結果を公開している	4	1	1	
	⑦	職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	5	1		基本的なこと等、もっと皆で学んでいきたい(新しい職員が多い為)月1で会議を行っている。
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	6			モニタリングにて行っている。
	⑨	活動の計画をチームで行っている	6			意見を出し合いながら協力して行う事が出来ている。
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	4	2		皆でもっと様々な意見を出し合いたい。職員にアンケートを取っている。同じ活動でも内容が同じにならないよう工夫している。前月と内容が同じにならないよう工夫する事が出来ている。
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	2	4		その週や日ごとの活動に応じて目的や目標を企画書等で設定し支援している。
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	4	2		
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			朝礼後、職員間で打ち合わせを行うよう心掛けている。進め方や役割分担等の話し合いが出来ている。
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			その日か翌日までに職員で分担し記録行う事が出来ている。
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	5	1		児発菅が中心となりモニタリングを行っている。職員全員で参加し児童について話し合い見直しを行っている。
	⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	1	4	1	

関係機関、保護者様との連携	⑰	学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	2	4		
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	1	4	1	
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している		5	1	卒業された方はいらっしゃらない。対象児童がいらっしゃらない。
	⑳	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		6		
	㉑	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	6			児発菅が保護者様と連絡を取り合い現場にフィードバックしている。送迎時に状況をお伝えしたり必要に応じて職員間での共有も出来ている。
保護者様への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	3	3		
	㉓	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	2	3	1	
	㉔	保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している		3	4	コロナで行えていない。
	㉕	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	1		苦情があれば職員間で話し合い対応後の内容も周知している。すぐに上司に連絡し迅速に対応を行っている。
	㉖	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	6			夢通信や夢たより等毎月配布している。
	㉗	個人情報保護に十分注意している	6			配布物作成時は肖像権をしっかりと確認している
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	2		
	㉙	地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	2	1	3	コロナで行えていない。
	非常時などの対応	⑳	緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	4	2	
㉑		非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	3	2	1	
㉒		虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	1	1	研修を受ける機会を頂いている。
㉓		いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	1	5		行う事がない
㉔		保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	5	1		
㉕		ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	2	4		ヒヤリハットが少ないと感じる。発生した時は朝礼で周知している。